

ユーモアスピーチ船橋

2025 (R7) 年 10 月 9 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

225 回船橋ユーモアスピーチ

2025 年 10 月 9 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「秋バテ」「AI」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

中久木 一乗さん：「シカよもやま話」

9 月 11 日の参加者：後藤、佐々木、関岡、中久木、
長井、山本、武田、松本、藤原、藤原、横田、大木、
岩寺、辻内、長嶋
15 名

前回のロングスピーチ (9 月 11 日)
「楽しい川柳ゲーム」

辻内 京子さま

川柳ゲームについて

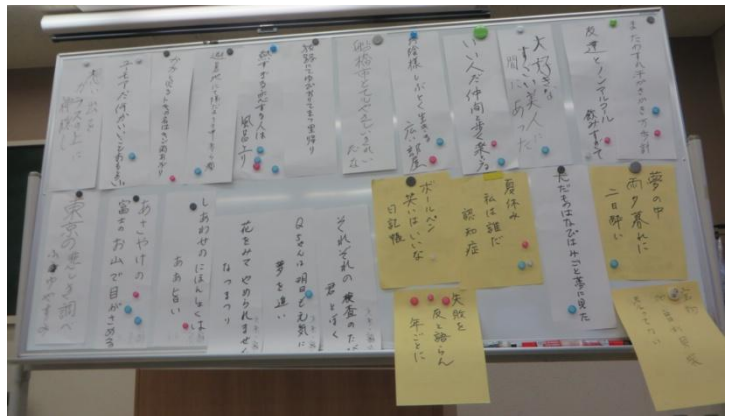
ルール 全員に用紙を配布する

五音と七音をそれぞれ自由に記入

回収しシャフルして全員に再び配布

二人一組で配布された五音と七音
に各自の創作を加えて川柳にする
掲示された作品を全員で選をし、最優
秀句を決める

笑いもボツボツ出て来て、楽しい雰囲気もマ
マ感じられる家庭に成ってきたかなあ〜♪



追伸

先日の スピーチの会で私のミスで皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。会報でお詫び
申し上げてください。

時間オーバーで皆さんのスピーチが2分になってしまいました。

3 分間スピーチダイジェスト テーマ 「大阪万博」「避暑」

関岡 直樹：「自由題」

大人の休日倶楽部の「大人の肖像」欄に、高橋尚子さんが登場していましたので、
その話をいたします。シドニー・オリンピックで金メダルをとったのはもう 25 年前。
現在はスポーツキャスターとしてご活躍。そしてもう 17 年！最初は自分の思いを言
葉にしきれず落ち込んだとのこと。「できることはすべてやろう」と決めて、放送
前の準備に努力を重ねられたとのこと。マラソンの中継は 2 時間以上！「今や選手に
寄り添い、観客を盛り上げる名解説者」と賛辞がおくられています。

山本 成夫：「避暑」

私の若い頃の避暑地の思い出は蓼科です。友人に誘われ、白樺湖で落ち合った。それから何とスキー場を上り、蓼科まで山越えです。日常では味わえない、山の自然と熱さを体験した。楽のしくて、苦しくもあった、懐かしい思い出です。

その後、蓼科で避暑を満喫した。近くのホテルの温泉で汗を流し、ワイン片手に真夏にすき焼きをご馳走になり、夜はヒンヤリと心地よく眠れた。これが避暑かと実感した。今では昼間は外出を避け、夜は避暑地の温度に冷房を調整し、夏布団を掛けて心地よく寝るのが私の避暑となっている。

避暑地と言えば、誰しも何かを期待して行くのではないのでしょうか。避暑地での、いい話のおありの方は、後ほど、こっそり避暑避暑話でお願いします。

中久木 一乗：「汚れ（ブラック）が多い場所」

口のケアはブラックを効果的に除去することが肝心です。即ち、歯と歯との間、修復人工物（詰め物・かぶせもの）の周り、そして歯の根元にはブラックが多く存在します。例え食事をしなくてもブラックは溜まります。歯並びのズレによる狭い場所や 歯と修復物の段差・隙間など。歯並びに完璧はないし、段差のない修復物もない。フロス・ブラシ・歯間ブラシの特性に合わせて就寝前は完璧を目指して使いこなすのが得策である。厳密に言えば、歯磨きは不要で嗽も不要である。

後藤 文男：「孫の運動会で驚いた」

先日、今年、小学校へ入学した孫の運動会を見学して驚いたことがある。今年の4月から、孫は墨田区押上の公立の小学校に通っているが、1クラス30人の3クラスである、その中でなんと1クラスに10人も外国人がいる。欧米、東南アジア等様々な人種の子供がいる。さぞかし、先生も子供も大変だと思ったが意外とそうでもなさそうである。特に子供は、言葉は理解できなくとも、皆仲良く、かけっこ、玉入れ、綱引きを楽しんでいる。多様性社会は確実に進んでいる、多様性は避けては通れない。我々高齢者も常に変化を楽しむ気持ちが必要だと思われる

大木 愛：「98%の医師が推奨する免疫乳酸菌 EF-2001」

ゆめのたねラジオ放送局の大木愛です。腸から元気を届ける「乳酸菌アドバイザー」として活動しています。おすすめは EF-2001 乳酸菌。火を通した安心の菌で、腸内細菌と免疫を整えます。リウマチやアレルギー、がんにも注目され、摂りすぎても自然に排出されるので安心。腸活は、年齢に関係なく毎日の元気を支える習慣。いくつになっても、腸をいたわることで体も心も軽やかになりますよ。あなたの腸にも、がんを防ぐ菌が住み着くかもしれませんね。

長嶋 秀治：「自由題」

最近、熊の目撃情報、遭遇被害がよく報じられている。8月中旬北海道知床半島の羅臼岳で登山客が熊に襲われ死亡した事故があった。60数年前、私も羅臼岳に登ったが、途中で熊の糞を見つけた。一緒に登った札幌の友人がこれは新しいぞと！恐る恐るなんとか登山出来たことを思い出した。東京近郊でも先月下旬に大山のケーブル駅付近の防犯カメラに熊が映っていた。青梅の梅郷でも出没したというニュースが流れた。我々がよく歩いている山域なので十分な注意が必要だ。

佐々木 由美子：「避暑」

膝の怪我で読書三昧の日々を過ごした。登山のプレッシャーもなく、ゆったり家で過ごした夏は初めて。『酷暑の中をわざわざ出かけ避暑地に行く意味があるのだろうか・・・?』と、思ってしまうほど我が家は避暑地。立て続けに読み漁った中で、お薦めを二冊
堀川恵子 著 透析を止めた日 横尾忠則 著 インドへ 前者はノンフィクションで、広がり
と深みのある内容に衝撃を受けた。後者は、彼の独特の世界観に惹かれた。

松本 健一：「千葉県で戦後、初めての総理大臣・野田佳彦」

彼は当選した時に『ドジョウのようにがんばります』と言った。翌日の朝刊に、豆腐の中に泥鰌が泳ぐ写真が、お陰様で私の行き付けの、両国橋袂の『桔梗屋』が予約で満席に。で…江戸東京の老舗どじょう屋と言ったら、やはり江戸時代からの『駒形どぜう』、そして浅草国際通りを少し入った『飯田屋』ですね。式軒とも立派な建物です。昔はカルシウムを補うため、田んぼから捕ってきた補助食品でしたが。今は丸、ヒラキ、柳川で御代わりなどして飲んだら、万札が飛びます高価な食べ物になります。で…もう一軒は 3.11 の地震で建物が壊れ、御主人閉めてしまった…私はここが一番気に入ってました。入ると…御主人が粋な口上で『いらしゃい』と掛け声で迎えてくれ、中通路が土間のように、両側に四畳半位の部屋が並び…江戸の飯屋風でなんとも言えません。所は深川・小名木川の高橋袂…はい！もう御年配の方々はお分かりになったと思います？三軒目は何と言う泥鰌屋さんでしょうか？明治20年創業の『伊せ喜』です

予告：11月 「船橋ユーモアスピーチの会」

11月13日（木）15時15分～ 船橋中央公民館 4階 第2集会室
ロングスピーチ

関岡 直樹さん：「人生後半戦をどう生きるか」
スピーチテーマ 「今年の漢字一字」、「おすすめスポット」
「自由題」、「失敗談」

※スピーチダイジェストの送付先のお願い

期間 : ユーモアスピーチの会終了後、2週間以内を目途に

文字数 : ロングスピーチは 700～1000 文字程度

3分スピーチは 200～300 文字程度

送付形式 : Word 文書で送付願います

送付先 : 町田 mac555new@ybb.ne.jp

会場変更のお知らせ

現在利用中の、船橋中央公民館は 2025 年 12 月より大規模改修工事のため、約 2 年間使用できません。

新規会場として、勤労市民センターを予約する予定です。詳しくは 10 月 9 日の例会でご説明いたします。

